

# 学校支援活動事業訪問

## 国見町訪問【国見町立県北中学校】

訪問日：令和元年12月10日（火）13：00～14：00

場 所：国見町立県北中学校

内 容：第2学年 国語「書き初め」

第1学年 保健体育「柔道」での学習支援ボランティア

## 書き初め

国見町在住のボランティアの方々4名の協力により、第2学年国語「書き初め」の授業が行われました。始めに書家でもあるボランティアの方の周りに全員集合して行書「伝統工芸」の実演を見学します。「筆を立てて、なだらかに」「ゆっくり、丸みのある線で」など、ポイントを絞りながら流れるような筆運びで示範して下さいます。それぞれの作品作りに入ると、ボランティアの方々が必要な時に手をとり、時に実演をしながら丁寧に指導を進めて下さいます。凜とした空気の中作品を仕上げている生徒の表情は真剣そのものでした。



### 【ボランティアの方の声】

中学生は一生懸命取り組むので、教えがいがあります。

この子どもたちが将来海外に行ったとき、「日本のいいところは何？」と聞かれたらぜひ筆をとり、漢字一文字「和」と書いて、「Peace!」とアピールしてほしいと思っています。日本人としてのアイデンティティを大切に、筆を通じた国際交流が出来るようになってほしいです。

### 【先生の声】

書写は準備と片付けに時間をとられるので、今回は2時間続きの日程を組みました。じっくりと集中して取り組むことができています。ボランティアの方の手厚いご指導のおかげで上達が早く、充実した学習が実現できています。

### 【生徒の声】

気をつけるポイントがたくさんあるのでとても緊張して書いています。でも、ボランティアの方が優しくわかりやすく教えて下さるのでうまくかけるようになってきました。書き初めは日本の伝統文化です。大切にしたいと思います。

## 柔道

ボランティアの方は国見町在住で、スポーツ少年団の指導もされています。学校の柔道の授業ではほぼ毎回支援して下さっています。保健体育科の先生とボランティアの方の二人体制による指導のため、より安全に配慮された効果的な学習活動が実現しています。

本時は後ろ受け身の学習です。生徒達は、「あごを引いてへそを見る」「両腕で畳を強くたたく」といった受け身技の基本を学びながら、礼に始まり礼に終わる武道の良さを体得していました。



### 【ボランティアの方の声】

一人一人、とても素直に柔道の学習に取り組んでいます。柔道は、相手を投げた後に袖を引き、相手が受け身をとしやすいようにする大切な動作があります。この動作から、「人を尊重すること」とはどんなことかを学んでほしいと思います。これからの人間関係づくりに柔道の精神を大いに役立ててほしいと願っています。

### 【先生の声】

ボランティアの方の専門的な立場からのご指導は大変ありがたいです。大変細かく丁寧に指導して下さるので、技能が高まっています。また、本校はおとなしく控えめな生徒が多いのですが、新しい技に積極的に挑戦する姿勢が見られるようになってきました。

### 【生徒の声】

柔道の授業をととても楽しみにしています。手本通りにやるのはとても難しいのですが、優しく教えてもらえるので少しずつ出来るようになってきました。柔道で学んだ「礼儀」を普段の生活でも大切にしていきたいと思っています。

## 訪問を終えて

書き初めの実践では目標の共有や指導内容の吟味、時間の調整等多岐にわたる項目をコーディネーターの方がこまめに調整して下さっています。地域と学校の大切な橋渡しを担っています。また、柔道の実践では、細かい内容に関しては学校とボランティアの方が直接打合せをしていました。ケースバイケースで多様な学校支援の在り方を具現化されていました。

校長先生は「地域との関わりこそが、どこの子どもでもない『国見の子』を育成することに直結している。」とおっしゃっています。子どもを地域で育てることの意義を十分に感じる実践でした。